



平成28年度
千葉県精神保健福祉センター
薬物乱用問題を考える会



第一部 講習会

毎月第3水曜日 13:30~15:15

※参加には事前申込みが必要です。別紙参加申込書をFAXされるか、電話にてお申込みください。

◎偶数月(4月、6月、8月、10月、12月、2月)

(対象) 本人・家族・関係者・この問題に関心のある方

(会場) 千葉県がんセンター事務研修棟 2階大会議室 ※10月のみ当センター1階講堂

開催日	テーマ	講師 (敬省略)
平成28年 4月20日	薬物依存症者の心理	小学館集英社プロダクションエデュケーション事業局矯正教育企画事業部企画課 プログラム指導マネージャー 堀口 忠利
6月15日	保護観察所における 薬物依存症者への対応 ~刑の一部執行猶予制度の開始に向けて~	千葉保護観察所 保護観察官 松本 陽一郎
8月17日	薬物依存症とギャンブル依存症の 理解と対応	ギャンブル依存症問題を考える会 代表 田中 紀子(アディクションカウンセラー)
10月19日	館山ダルク S.A.R.S 千葉における 薬物依存症回復プログラムの実際 ~エイサー演舞と当事者のメッセージ~ ※会場は当センター1階講堂となります。	館山ダルク 施設長 十枝 晃太郎 S.A.R.S (女性) 施設長 十枝 真沙史 薬物等依存症当事者 等
12月21日	依存症のリスク要因 (仮)	千葉県精神保健福祉センター 精神科医 林 偉明
平成29年 2月15日	依存症の問題を抱えて 傷ついた家族を支援する方法	(株)アスク・ヒューマン・ケア取締役 研修相談センター 所長 水澤 都加佐 (臨床心理士・精神保健福祉士)

◎奇数月(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 薬物乱用問題を考える会 一 家族教室一

(対象) 家族のみ (会場) 千葉県精神保健福祉センター 1階デイルーム

(内容) 「薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」のテキストを使用し、家族として本人の回復に必要となる知識や対応方法について学びます。 ※1クール年6回で構成

(講師) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 診断治療研究室長 近藤 あゆみ 氏

開催日	テーマ
平成28年 5月18日	薬物依存症とは
7月20日	上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる
9月21日	長期的な回復を支え、再発・再使用に備える
11月16日	家族のセルフケア
平成29年 1月18日	「家族の病気」としての薬物依存症
3月15日	1年のまとめ

【偶数月会場案内図】



交通のご案内	
①	J R 千葉駅(東口バスターミナル2 番乗り場) から千葉中央バス ●千葉リハビリテーションセンター行 ●県庁・星久喜台経由大宮団地行 ●誉田駅行 ●鎌取駅行 (所要時間約30分: 料金300円) 「千葉県がんセンター」下車徒歩5分
②	J R 外房線鎌取から 千葉中央バス ●千葉駅行 「千葉県がんセンター」下車徒歩5分
③	自動車(京葉道路利用) 「松ヶ丘出口」から下り、 大網街道を大網白里方面に向かって、 ↓ 約2km先「千葉東病院」の先を右折。

第二部 家族ミーティング 毎月第3水曜日 15:30~16:45

第一部講習会終了後、千葉県精神保健福祉センター内にて、薬物乱用・依存症者の家族のみによるミーティングを行っています。第二部のみの参加も可能です。(申込み不要)

- 対象) 薬物乱用・依存症者の家族
- 内容) お茶やコーヒーを飲みながら、ゆったりした雰囲気で行っています。
- 匿名での参加や聞くだけでの参加もOKです。
- ご心配のことがありましたら、お気軽にお電話ください。

初めての方
大歓迎♪



薬物関連問題に関する相談

【個別相談】 薬物相談専門員【自助グループダルク(薬物依存症者回復施設)の職員】による薬物関連問題(依存・治療・対処法方法等)に関する相談を行っています。

- 実施日 毎月第2・4水曜日 午後1時~4時 千葉県精神保健福祉センター内(1階相談室)
- 対象者 薬物乱用・薬物依存症の問題でお困りの本人・家族及び関係機関職員
- 申込方法 千葉県精神保健福祉センター調査研究課 ☎043-263-3892 までお申込みください。

(注意事項) ※ 完全予約制です。 ※千葉市在住の方は対象外となります。

問い合わせ先：千葉県精神保健福祉センター 調査研究課
〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町666-2
(直通電話) 043-263-3892 (代表) 043-263-3891